

地域や社会の課題に関するアンケート結果について

令和8年2月6日

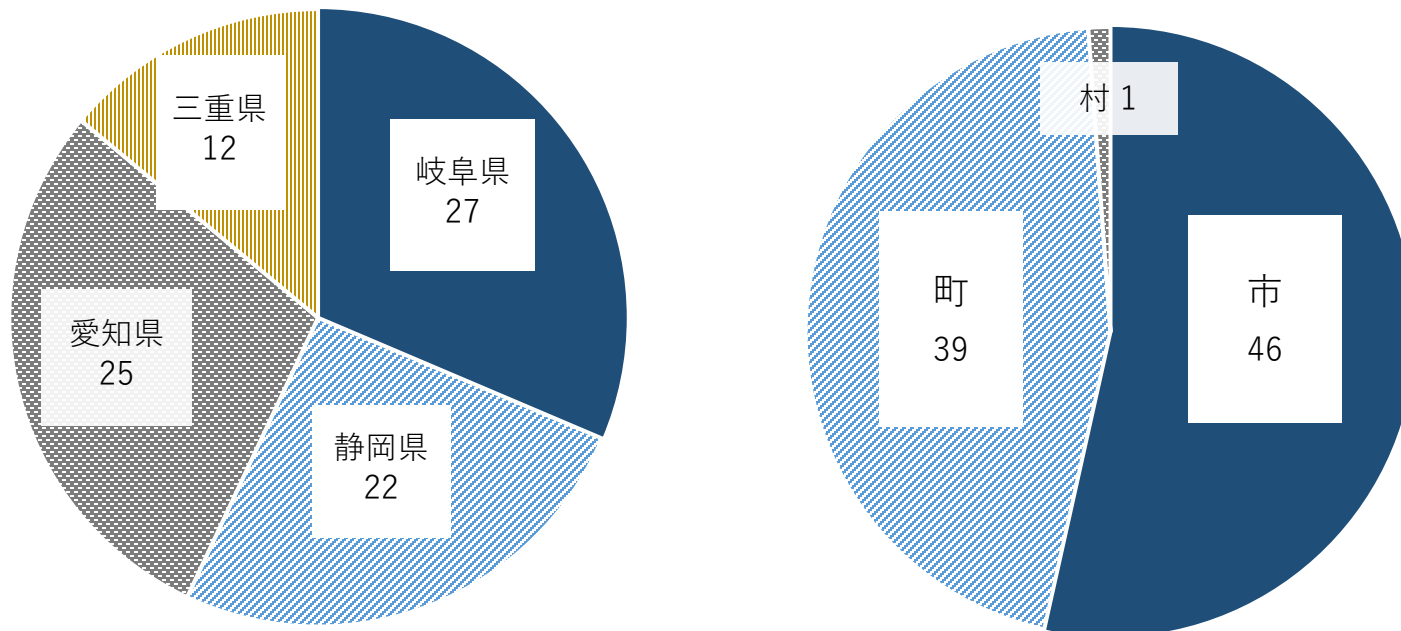
東海地域デジタルインフラ整備・活用推進協議会
事務局

- ◆ 回答期間:2025年12月12日から2026年1月16日まで
- ◆ 回答者:東海管内(岐阜県・愛知県・三重県・静岡県)の全160市町村に対して回答を依頼し、84市町村(86課室)から回答があったもの(回答率52.5%)。

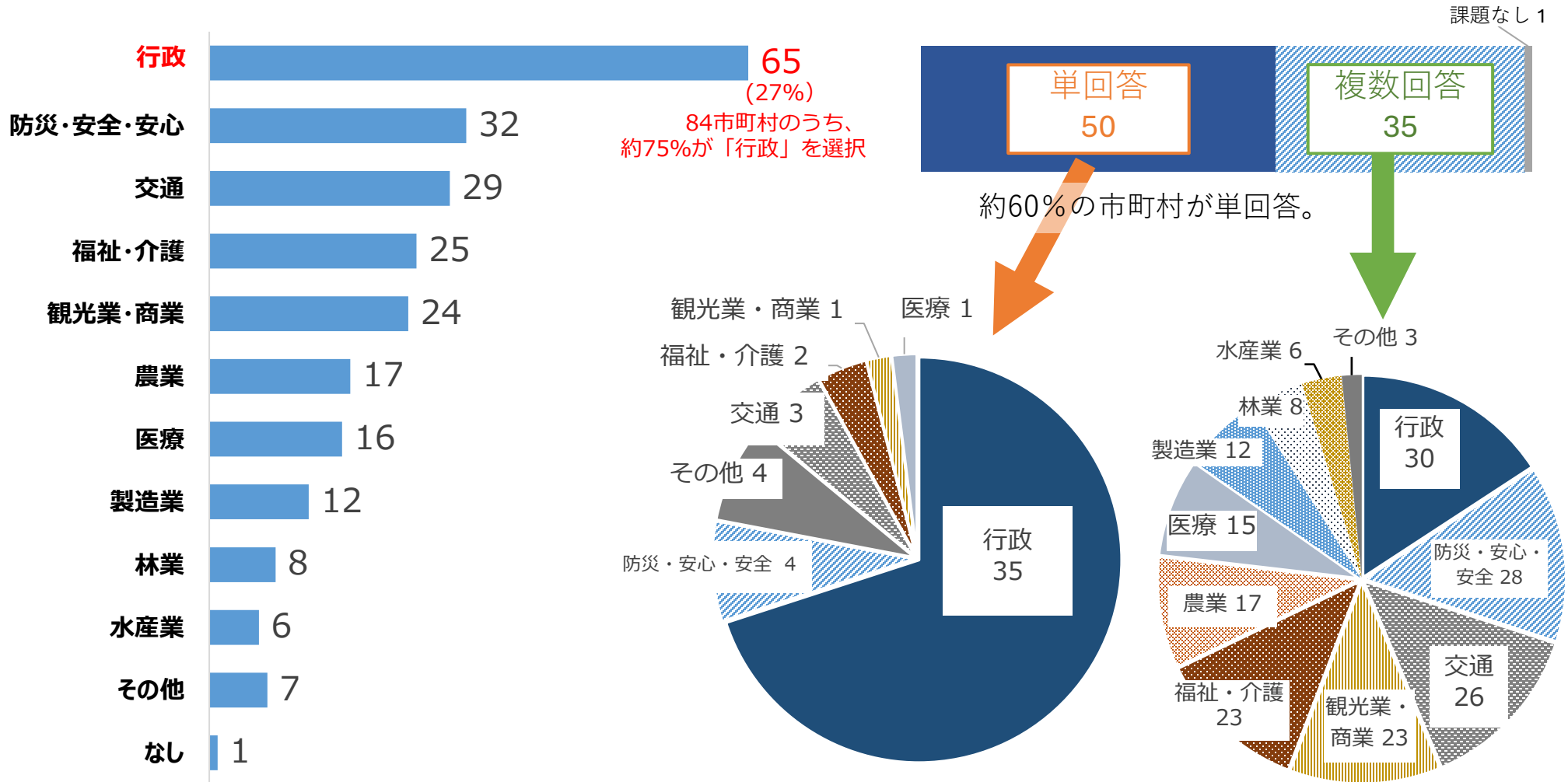
回答の共有について

市町村から回答いただいた内容(担当者名等の個人情報等を除いたデータ)について、地域協議会として地域や社会の課題解決の取組の支援に向けて活用するため、県には所属する市町村の全分野に関する回答、及び農政局には「農業」分野に関する回答を共有することとしたい。

回答者内訳



Q1 情報通信やデジタル技術による課題解決を期待している分野 (複数回答可・総回答数：241)



- 「行政」分野は、市町村の本来業務であり、課題意識が高く、情報通信やデジタル技術による解決をイメージしやすいのではないか。
- 一方で、他分野は、課題を把握できていなかったり、情報通信やデジタル技術による解決をイメージしにくいケースが多いのではないか。

Q2 Q1で回答した分野での具体的課題

<行政>

- ・ 行政手続きのDX化・オンライン化、業務の効率化
- ・ オンライン技術等の浸透、普及
- ・ マイナンバーカードを活用した施策や手続きの充実
- ・ デジタル人材の不足

<防災・安全・安心>

- ・ 防災・防犯情報の早期かつ確実な情報伝達
- ・ 避難所運営・入退出管理
- ・ 河川の水位状況・予測・分析

<交通>

- ・ 公共交通の維持・交通手段の確保
- ・ 公共交通の効率的な運用

<福祉・介護>

- ・ 相談記録等の機微な個人情報への安全かつ効率的な管理
- ・ 児童の登下校の見守り
- ・ 高齢者の見守りシステムの構築

<観光業・商業>

- ・ 観光地や産業等の地域情報の発信力強化
- ・ 消費の低下への対応、集客情報等の効率的な活用
- ・ 人材不足によるサービス低下

<農業>

- ・ 担い手不足、高齢化
- ・ データ活用による業務効率化・品質や農地等管理
- ・ 鳥獣被害対策

<医療>

- ・ 医師や医療機関の不足⇒受診困難
- ・ マイナンバー等を活用した取組連携

<製造業>

- ・ 製造業分野のDX推進
- ・ 地域に知識や経験が蓄積されない

<林業>

- ・ 担い手不足、高齢化
- ・ 資源や流通等の情報効率化（アナログ管理）

<水産業>

- ・ 担い手不足
- ・ 業務効率化が進んでいない

<その他>

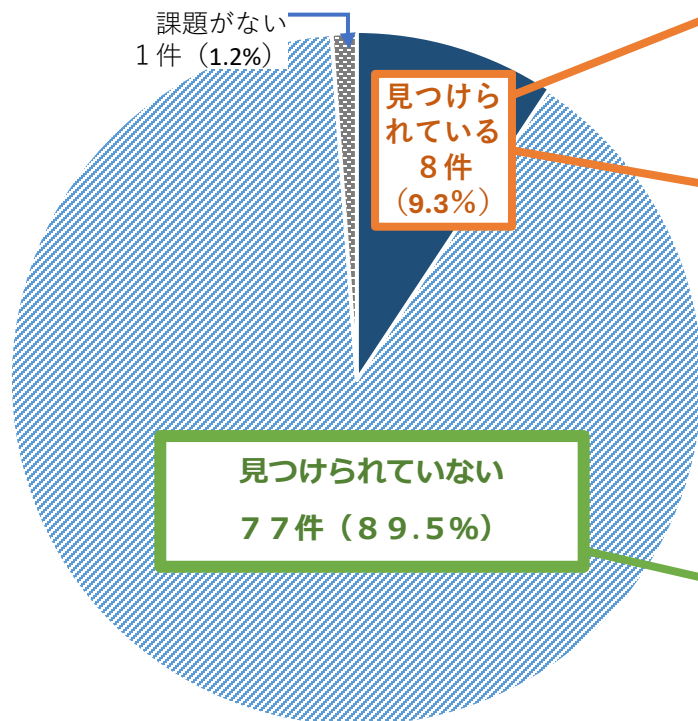
- ・ そもそも課題が整理できていない
- ・ 予算やノウハウがない

● 分野に限らず、人材不足が顕在化しており、DXによる業務効率化や生産性向上などを望む声が多いのではないかと。

● 個別具体的かつ詳細な課題について回答した市町村は少数であった。

Q3 Q2で回答した課題の解決策は見つけているか。

(回答数：86件)

**Q4** 具体的な実施時期（予定）（回答数：8件）

令和8年度から	3
令和9年度から	1
未定	4

Q5 総務省の地域社会DX推進パッケージ事業など国の施策の活用を希望するか。（回答数：8件）**Q6** 「希望する」場合、東海総合通信局の伴走支援に関心はあるか。（回答数：1件）

希望する	1	東海総合通信局の伴走支援「関心あり」
希望しない	7	

Q7 東海総合通信局では、課題解決に資するソリューションを提供する事業者や地域情報化アドバイザーの紹介やマッチングなどの支援を行う予定だが、当局の伴走支援に関心はあるか。（回答数：77件）

関心がある	32
関心がない	41
無回答	4

Q8 課題解決実例として、総務省予算施策による先行事例の現地視察会への参加を希望するか。（回答数：86件）

希望する	40
希望しない	46

● 特に、課題の解決策が「見つけられていない」と回答した市町村の約半数が、東海総合通信局による伴走支援や、先行事例の視察会の参加を「希望する」傾向にあり、ソリューション提供事業者やアドバイザーの紹介やセミナーなどを通じて、課題解決の糸口をつかむ「きっかけづくり」となるのではないかと期待されている。